



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 東プレ株式会社
 コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	171,109	13.5	5,971	2.4	9,945	65.4	6,693	66.1
2021年3月期第3四半期	150,711	7.4	6,116	46.6	6,011	50.4	4,030	51.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 8,204百万円 (45.4%) 2021年3月期第3四半期 5,643百万円 (27.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	127.56	
2021年3月期第3四半期	76.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	306,175	172,379	55.1	3,215.71
2021年3月期	309,790	165,632	52.3	3,089.02

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 168,725百万円 2021年3月期 162,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		15.00		15.00	30.00
2022年3月期		15.00			
2022年3月期(予想)				10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.2	6,000	44.6	9,000	45.4	5,000	60.2	95.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	54,021,824 株	2021年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,552,757 株	2021年3月期	1,531,739 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	52,473,788 株	2021年3月期3Q	52,487,716 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
(継続企業の前提に関する重要事象等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う経済活動の停滞の影響を大きく受けた前年同期に対し、自動車用プレス部品を中心に業績が回復し、物量が増加したことにより、売上高 1,711 億 9 百万円、前年同期比 203 億 9 千 7 百万円の増収 (13.5%増) となりました。また、利益面では、北米において、人手不足や生産準備遅れにより製造費用が増加したことで、損失の改善が遅れたため、営業利益 59 億 7 千 1 百万円、前年同期比 1 億 4 千 4 百万円の減益 (2.4%減) となりました。経常利益は、為替影響による増益効果があり、99 億 4 千 5 百万円、前年同期比 39 億 3 千 3 百万円の増益 (65.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、66 億 9 千 3 百万円、前年同期比 26 億 6 千 3 百万円の増益 (66.1%増) となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により大幅に物量が減少した前年同期に対し、北米を中心に物量が増加したものの、半導体不足や東南アジア地区ロックダウンによる部品供給不足の影響を大きく受けました。

売上高は、為替影響による増収効果も含め、1,307 億 8 千 3 百万円、前年同期比 200 億 8 千万円の増収 (18.1%増) となりました。利益面では、セグメント利益 (営業利益) が、10 億 9 千 1 百万円、前年同期比 6 億 6 千 1 百万円の増益 (153.8%増) となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきましては、当社グループ全体での受注・生産は、部材不足の影響により小型車が減少し、前年同期を下回りました。物流システム部門においては、物流倉庫物件売上が前年同期を大きく上回りました。その結果、定温物流関連事業全体での売上高は、335 億 7 百万円、前年同期比 3 億 1 千 1 百万円の増収 (0.9%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、冷凍車の台数減や材料価格高騰の影響により、42 億 3 千 8 百万円、前年同期比 6 億 8 千 7 百万円の減益 (13.9%減) となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、世界的な半導体不足による受注減少の影響などから、売上・営業利益ともに前年同期を下回りました。一方、電子機器部門におきましては、タッチパネルなどの企業向け製品の売上が引き続き好調であったことから、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、68 億 1 千 8 百万円、前年同期比 6 百万円の増収 (0.1%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、6 億 4 千万円、前年同期比 1 億 1 千 9 百万円の減益 (15.7%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に受取手形及び売掛金の減少により、1,273億9百万円となりました。

固定資産では、主に投資有価証券の減少により、1,788億6千5百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億1千5百万円減少の3,061億7千5百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に1年内返済予定の長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金や短期借入金の減少などにより793億4千8百万円となりました。

固定負債では、主に長期借入金の減少により、544億4千7百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ103億6千3百万円減少の1,337億9千5百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ67億4千7百万円増加の1,723億7千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年11月12日の決算発表時に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,279	46,447
受取手形及び売掛金	52,285	45,702
有価証券	49	77
棚卸資産	29,245	26,336
その他	9,302	8,745
流動資産合計	130,162	127,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,493	54,011
機械装置及び運搬具(純額)	57,921	61,758
建設仮勘定	17,016	10,377
その他(純額)	27,798	26,871
有形固定資産合計	154,229	153,019
無形固定資産	4,353	5,095
投資その他の資産		
投資有価証券	17,092	14,535
その他	4,068	6,296
貸倒引当金	△115	△81
投資その他の資産合計	21,044	20,750
固定資産合計	179,628	178,865
資産合計	309,790	306,175

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,629	42,274
短期借入金	5,020	3,630
1年内返済予定の長期借入金	10,772	13,840
未払法人税等	1,774	3,125
賞与引当金	1,488	958
役員賞与引当金	60	42
製品保証引当金	148	150
その他	18,629	15,326
流動負債合計	81,525	79,348
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	27,044	18,947
長期末払金	45	32
繰延税金負債	4,227	4,218
P C B 処理引当金	46	45
役員株式給付引当金	81	103
退職給付に係る負債	42	46
その他	1,145	1,053
固定負債合計	62,633	54,447
負債合計	144,158	133,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,446	4,446
利益剰余金	146,175	151,468
自己株式	△1,096	△1,130
株主資本合計	155,135	160,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,303	3,499
為替換算調整勘定	3,037	5,102
退職給付に係る調整累計額	△333	△271
その他の包括利益累計額合計	7,007	8,330
非支配株主持分	3,489	3,654
純資産合計	165,632	172,379
負債純資産合計	309,790	306,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	150,711	171,109
売上原価	134,037	154,301
売上総利益	16,673	16,808
販売費及び一般管理費	10,557	10,836
営業利益	6,116	5,971
営業外収益		
受取利息	124	113
受取配当金	288	346
固定資産賃貸料	63	62
為替差益	—	3,234
助成金収入	817	391
持分法による投資利益	325	198
その他	294	238
営業外収益合計	1,914	4,585
営業外費用		
支払利息	214	196
社債利息	31	42
有価証券売却損	—	7
固定資産賃貸費用	13	5
為替差損	1,353	—
外国源泉税	21	41
社債発行費	49	—
休業手当	218	250
その他	116	67
営業外費用合計	2,019	611
経常利益	6,011	9,945
特別利益		
固定資産売却益	14	43
投資有価証券売却益	9	578
抱合せ株式消滅差益	20	—
その他	—	4
特別利益合計	44	626
特別損失		
固定資産除却損	31	33
投資有価証券売却損	21	38
その他	3	5
特別損失合計	55	77
税金等調整前四半期純利益	6,000	10,494
法人税、住民税及び事業税	△53	4,910
法人税等調整額	1,848	△1,173
法人税等合計	1,795	3,737
四半期純利益	4,205	6,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	174	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,030	6,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,205	6,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	949	△788
為替換算調整勘定	382	1,960
退職給付に係る調整額	127	66
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	208
その他の包括利益合計	1,438	1,446
四半期包括利益	5,643	8,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,424	8,016
非支配株主に係る四半期包括利益	218	187

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社栃木三池は、2021年4月に清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	110,702	33,196	143,899	6,812	150,711	—	150,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	7	119	51	170	△170	—
計	110,814	33,204	144,018	6,863	150,882	△170	150,711
セグメント利益	430	4,925	5,355	760	6,116	—	6,116

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	130,783	33,507	164,290	6,818	171,109	—	171,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	7	128	52	180	△180	—
計	130,904	33,514	164,419	6,870	171,290	△180	171,109
セグメント利益	1,091	4,238	5,330	640	5,971	—	5,971

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。